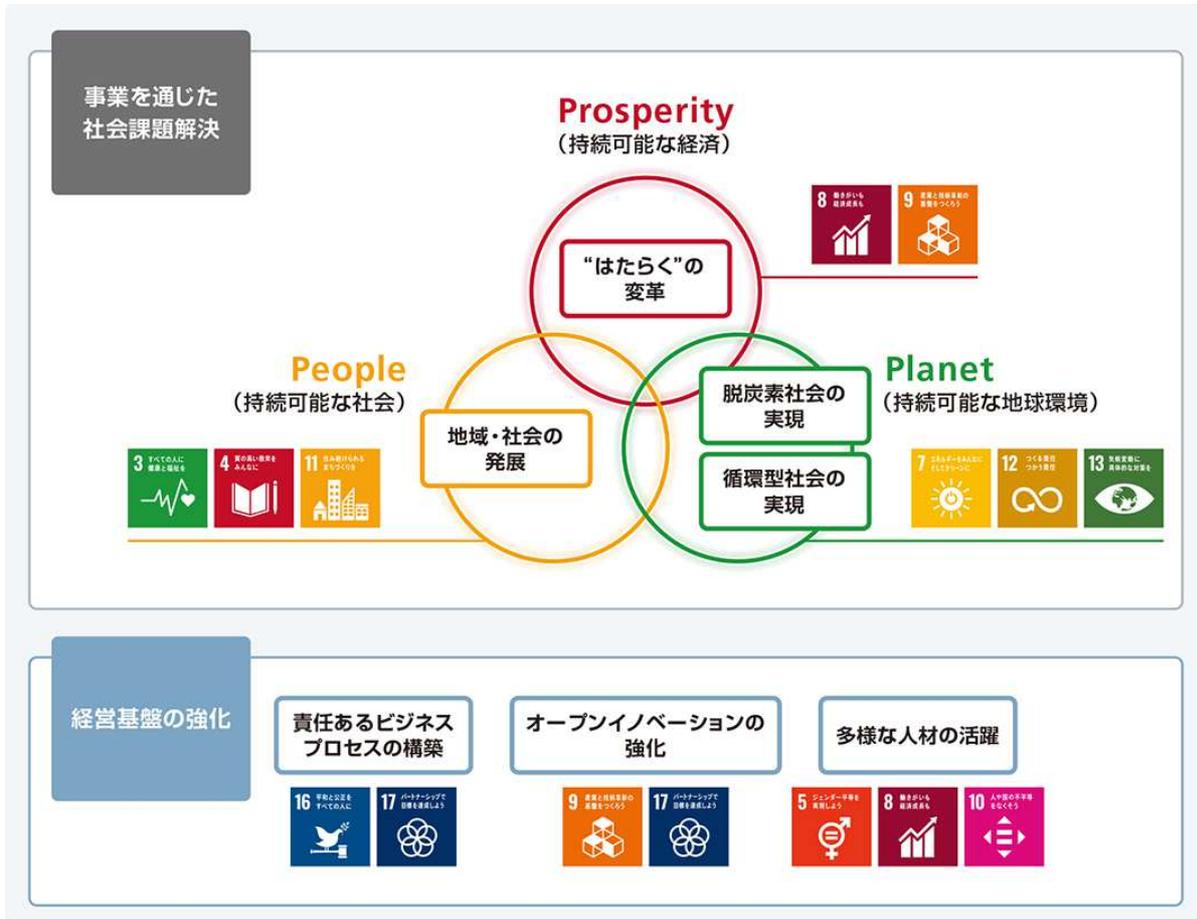


サステナビリティ推進

2023 年度から 2025 年度の活動計画

リコーグループでは、「事業を通じた社会課題解決」とそれを支える「経営基盤の強化」の 2 つの領域で 7 つのマテリアリティを特定するとともに、各マテリアリティに紐づく ESG 目標を設定しています。PFU では、リコーグループ ESG 目標と整合した ESG 目標を設定しています。

リコーグループの 7 つのマテリアリティ



【戦略的意義】

事業を通じた社会課題解決	"はたらく"の变革 Creativity from Work	人とデジタルの力で、はたらく人やはたらく場をつなぎ、お客様の"はたらく"を変革するデジタルサービスを提供し、生産性向上・価値創造を支援する。
	地域・社会の発展 Community and Social Development	技術 × 顧客接点力で、地域・社会システムの維持発展、効率化に貢献し、価値提供領域を拡大する。
	脱炭素社会の実現 Zero-Carbon Society	バリューチェーン全体の脱炭素化に取り組み、カーボンニュートラルへの貢献を通じたビジネス機会を創出する。
	循環型社会の実現 Circular Economy	自社および顧客のサーキュラーエコノミー型ビジネスモデル構築によりビジネス機会を創出する。
経営基盤の強化	責任あるビジネスプロセスの構築 Responsible Business Process	サプライチェーン全体を俯瞰してビジネスプロセスの ESG リスク最小化を図り、ステークホルダーの信頼を獲得する。
	オープンイノベーションの強化 Open Innovation	社会課題解決型の事業を迅速に生み出すために、自前主義を脱却し新たな価値創出プロセスへの転換を図る。
	多様な人材の活躍 Diverse and Inclusive Workforce	多様な人材がポテンシャルを発揮できる企業文化を育み、変化に強い社員・会社へと変革する。

PFU ESG 目標

2023 年度中に策定予定としていた、マテリアリティ「循環型社会の実現」「責任あるビジネスプロセスの構築」「多様な人材の活躍」に係る ESG 目標を策定しました。

マテリアリティ	ESG 指標	2023 年度 実績	2024 年度 目標	2025 年度 目標			
事業を通じた社会課題解決	“はたらく” の変革 高い付加価値でお客様の業務効率化に貢献するハイ エンドスキャナーの販売台数 (fi シリーズ：グローバル販売台数)  		369,824 台	390,000 台	392,000 台		
	GHG 排出量 Scope1,2 削減率	 	5,126t-CO ₂	5,332t-CO ₂	4,697t-CO ₂		
	脱炭素社会 の実現	GHG 排出量 Scope3 削減 率  	国際エネルギースター プログラム適合	スキャナー製品	適合 100% (3 製品)	100%	100%
			米国 EPEAT 取得 対応	スキャナー製品	適合 100% (3 製品)	100%	100%
		製品環境性能指数	組込みコンピューティング製品	4.01	4.30 以下	4.22 以下	
			情報 KIOSK 端末	14.36	11.263 以下	10.46 以下	
			ネットワークアライアンス製 品	0.537	0.557 以下	0.546 以下	
			セキュリティ製品	0.256	0.256 以下	0.256 以下	
		製品導入による 顧客先環境貢献量	組込みコンピューティング製品	9,465t-CO ₂	8,155t-CO ₂	8,277t-CO ₂	
			情報 KIOSK 端末	1,732t-CO ₂	1,332t-CO ₂	762t-CO ₂	
			ネットワークアライアンス製品	339.6t-CO ₂	301.8t-CO ₂	190t-CO ₂	
			セキュリティ製品	660.3t-CO ₂	645.0t-CO ₂	649.6t-CO ₂	
	環境配慮ソリューション による顧客先環境貢 献	ドキュメント	1295.1t-CO ₂	762.3t-CO ₂	839.3t-CO ₂		
		ソリューション	5,977t-CO ₂	4,023t-CO ₂	4,109t-CO ₂		
	循環型社会 の実現	製品の新規資源 使用率 	新規資源使用率	スキャナー製品	95.6%	95.2%	93.9%
化石資源由来バージ ンプラスチックの包装材 削減率			スキャナー/キーボード製品	22.5%減	9.5%減	14.5%減	
経営基盤の強化	責任ある ビジネスプロセ スの構築	CHRB スコア	RBA-SAQ スコア	 	89.6%	85%	85%
		ICT セクター評価					
	多様な人材の 活躍	エンゲージメントスコア	 	3.57	3.65	3.74	
女性管理職比率		 	8.4%	7.3%	8.5%		

カーボンニュートラル

リコーグループ環境目標に基づいて、2050 年度に GHG 排出ネットゼロを目指します。2040 年目標は、Scope1,2 において GHG 実質排出ゼロ、事業活動で使用する電力の再生可能エネルギー比率 100%としています。

■ Scope1、Scope2 の取組み

継続した省エネを推進しながら、再生可能エネルギーの導入も進めます。

PFU では、地球の気温上昇を 1.5℃未満に抑える水準と整合した削減目標を 2030 年度目標に掲げています。

■ Scope3 の取組み

調達・輸送・使用など事業活動の上流から下流までを含めたサプライチェーン全体での CO₂ 排出量削減が求められています。

PFU では、排出比率の大きい「購入した製品・サービス（カテゴリ-1）」、「輸送、配送（上流）（カテゴリ-4）」、「販売した製品の使用（カテゴリ-11）」の3つのカテゴリに注目した削減目標を 2030 年度目標に掲げています。

■ 再生可能エネルギー普及拡大への取組み

PFU では、RE100(注 3)に参加しているリコーグループの一員として社会全体の再生可能エネルギーの普及拡大に貢献しています。2023 年度の再生可能エネルギー由来の電力量は 2211MWh。

本社及び ProDeS センターでは、2024 年 4 月よりリコージャパン株式会社が供給する再生可能エネルギー100%の電力を使用開始しています。

(注 3)RE100 は、The Climate Group が CDP とのパートナーシップのもとで主催しています。日本では 2017 年 4 月より日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP) が地域パートナーとして、日本企業の参加を支援しています。



再エネ電力使用証明書

	2030 年度目標	2040 年度目標	2050 年度
Scope1、Scope2	2015 年度比 63%削減	GHG 実質排出ゼロ	GHG 排出ネットゼロ
Scope3	2015 年度比 40%削減 (調達・輸送・使用カテゴリ)	2015 年度比 65%削減 (全カテゴリ)	
再生可能エネルギー比率	50%	100%	——